科目ナンバリング	U-LAS03 10009 SB48				
授業科目名<英訳>	外国文献研究（経・英）B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Economics, English)B-E1			担当者所属職名・氏名	経済学研究科 特定助教 小池　智大
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究	使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業では, 担当教員による前期の外国文献研究（経・英）に引き続いて, A.K.Dixitの "Optimization in Economic Theory (Second Edition)"（以下, 教科書と呼ぶ）を読み, 経済学における最適化理論の基本を勉強する。 最適化は経済学の中心的な原理の一つであり, 経済学のあらゆるところに登場する。 代表的な例は, 家計が効用を最大化するように消費や労働供給を決定する問題, 企業が利潤を最大化するように生産計画を決定する問題, 社会厚生を最大化する政府の問題などである。 これらの問題は一見異なるものに見えるが, 共通の数学的構造を有している。 本講義では, その数学的構造を学ぶことで, これらの問題が共通してもつ経済学的な直観を見出すことを目標とする。

具体的には, 等式・不等式制約付き最適化問題, 不確実性下の最適化, 動学的最適化を主に取り扱う。 前期の授業で取り扱ったLagrangeの定理やKuhn-Tuckerの定理による解法を復習した上で, Concave programming (Chapter 6-8), 不確実性下での最適化(期待効用理論) (Chapter 9), 動学的最適化(Chapter 10-11)を取り扱う。 また, 英語で経済学や数学を学ぶ力を身に付けるために, 重要な語彙をピックアップしたり, や数学的な議論を英語で書く方法を説明したりもする。

この授業は, 英語で経済学理論の本を読んでみたい学生, 経済モデルをより深く理解したい学生, 大学院で経済学を学ぶことに関心のある学生に適していると考えられる。

[到達目標]

1. 最適化の基本を習得し、経済学モデルへの理解を深める。
2. 英語文献を通して経済学や数学を学べるようになる。
3. 数学的な議論を英語で記述する力を身に付ける。

[授業計画と内容]

最初の1〜2回の授業は担当教員が講義を行い, 本講義の概要・講義の進め方・前提知識を共有する。また, 適宜前期の内容の復習も行う。残りの授業は受講生による発表を中心に進める。発表がない回であっても, 教科書を事前に読んでくることが求められる。教科書はChapter 6からChapter 11までを扱う予定だが, 授業の進行状況に応じて変更する場合がある（前に進むことよりも、理解を深めることを優先する）。 教科書の章立ては以下の通り：

Chapter 1. Introduction
Chapter 2. Lagrange's Method
Chapter 3. Extensions and Generalization
Chapter 4. Shadow Price
Chapter 5. Maximum Value Function
Chapter 6. Convex Sets and Their Separation
Chapter 7. Concave Programming
Chapter 8. Second-Order Conditions
Chapter 9. Uncertainty
Chapter 10. Time: The Maximum Principle

外国文献研究（経・英）B-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（経・英）B-E1(2)

Chapter 11. Dynamic Programming

授業理解度を把握するため, 適宜宿題や小テストを実施する。

[履修要件]

経済学については, ミクロ経済学1で扱われるような消費者の理論と企業の理論について理解していることが望ましい。 数学については, 微積分の基本事項(特に多変数関数の微分), 確率論の基本事項(期待値や確率分布などの基本概念)について既知であることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

期末テスト(50%)と発表・小テスト・授業への出席など(50%)から評価する予定である。 (変更の可能性あり。最初の授業で説明する予定である)

[教科書]

Dixit, A. K. 『Optimization in Economic Theory (2nd ed.).』（Oxford University Press.）（※1st ed.**ではなく**2nd ed.**であることに注意してください。**）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習: 次回の授業で学習する範囲を予め読む。
復習: 授業内容を復習して, 宿題や小テストの勉強に取り組む。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーについては授業中に説明する。

[主要授業科目（学部・学科名）]

経済学部